

令和7年度 学校経営方針(全日制)

令和7年4月3日 校長 三和 聖徳

1 校 訓 「敬愛 叡知 進取」

2 学校標語 「力行天下第一」

3 教育目標

校訓として、「敬愛、叡知、進取」を掲げ、「力行天下第一」の教育信条のもとに研鑽を積むことにより、自己実現を図り、社会の変化に主体的に対応しつつ、その発展に寄与できる心豊かな人間を育成する。

4 スクール・ミッション

大学や研究機関、国内外の高校との連携を生かした先進的な理数教育やグローバルな社会課題に対する探究活動を推進し、専門的な知識や柔軟な発想を身に付けるとともに、地域文化の継承に向けた活動により、郷土への誇りや愛着を醸成し、心豊かに、地域を支え、社会の発展を担う人財を育成する。

(1) めざす生徒像（グラデュエーション・ポリシー）

- ①知性と教養を兼ね備え、社会の発展を担うことができるグローバルな人間
- ②探究心をもち、広い視野と柔軟な発想でこれからの社会を創造していくことができる人間
- ③自他の人間性を尊重して協働する、心の豊かな人間

(2) めざす教員像

- ①プロとしての指導力を発揮し、主体的に学び続ける教員
- ②教育公務員としての自覚と高い倫理観をもち、生徒・保護者・地域から信頼される教員
- ③ワーク・ライフ・バランスを取りながら、互いに気を配り、チームとして協働する教員

5 学校経営の基本姿勢

(1) 学習指導の充実

- ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。
- イ 成就感のあるわかる授業を実践してもらうことで生徒のやる気に火をつけ、自信を育む教育を推進する。
- ウ SSH と連動し、全校体制で総合的な探究活動を推進する。

(2) 生徒指導の充実

- ア 挨拶、服装容儀、スマートフォンの使い方等のマナー指導を徹底するなどして、生徒の品性を育む活動を推進する。
- イ 不登校、いじめ、問題行動の未然防止を図るとともに、早期発見・早期対応に努め、カウンセリングマインドによる個に応じた教育相談を通して、生徒との信頼関係の構築を推進する。
- ウ 部活動、生徒会活動、ボランティア活動を奨励するとともに、ホームルーム活動、学校行事を通じて共感的な人間関係と連帯意識を構築する。

(3) 進路指導の充実

- ア 高校3年間で俯瞰した進路指導の実現に向け、指導の体系化を図り、生徒の進路に向かう

意識の一層の強化に努める。

- イ 生徒の進路志望実現に向けて、教員による大学研究、入試問題研究、他校視察等を推進し、教員の指導力強化を図る。

(4) 安心安全の徹底

- ア 生徒が安心して勉学や部活動に励むことができる環境を整備するとともに、教職員の危機管理意識の高揚を図る。
- イ 教職員の服務規律の徹底を図ることで生徒や保護者・地域社会から信頼される学校を目指す。

(5) オール五所川原高校で取り組む教育活動

- ア 学校教育は教員のみならず、事務部の職員も重要な役割を担っており、外郭団体や地域の方々からも支えられることで成り立っていることを念頭に置いてオール五所川原高校で教育活動を展開する。

6 目指す学校像

(1) 生徒第一

- ア 生徒一人ひとりの理解に努め、心情に配慮し、生徒の話を丁寧に傾聴する教員のいる学校
- イ 生徒の安全を第一に考え、校内外の教育活動の場に危険や不具合がないかどうか常に想像力を働かせる教員のいる学校

(2) 授業改善

- ア 生徒に「わかった」「できた」の気持ちを体感させ、学習意欲がかき立てられる授業を実践する教員のいる学校
- イ ICT の効果的活用や最新の授業実践、先進的な取り組みを積極的に導入し、不断の授業改善を図る教員のいる学校

(3) 社会に開かれた学校・教育課程

- ア 生徒が自らの人生を切り拓いていくために求められる資質・能力を育むために、学びの場を必要に応じて地域社会にも広げ教育活動を展開する学校
- イ 広報誌で学校の教育活動の様子を保護者や同窓生に発信したり、報道機関に報道依頼したりして、魅力を積極的にアピールする学校

(4) 文武両道

- ア 勝利至上主義に走ることなく、心身を鍛える部活動指導を実践する学校
- イ 計画的に部活動の休養日を設けたり、効率的な練習を日々心掛けたりして少ない練習時間でも最大の成果を上げることを目指して部活動を行う学校

(5) 働き方改革

- ア ワークライフバランスが適切に図られ、教職員が生き生きと働いている学校
- イ 長時間労働とならないように工夫がなされ、過重な労働とならないよう教職員がお互いにフォローしあえる雰囲気のある学校